



平成二十六年 全日本珠算選手権大会が京都で開催される

荒木田 富枝



発行者
一般社団法人 静岡県珠算協会
公益社団法人 全国珠算教育連盟静岡県支部
(静岡市駿河区八幡2丁目)
発行人 松村 茂夫
編集人 徳増 久夫
印刷所 アド・アール株式会社

平成二十六年全日本珠算選手権大会が八月八日、京都市の国立京都国際会館において開催されました。

会場の国立京都国際会館は、平成二十四年、平成二十五年、に続いて三年目の開催となります。

前日の会場に向かう地下鉄の車中でも、他県の見慣れた顔の選手達や初々しい小学生の姿も見られました。

文字通り『そろばん日本一』を決める大会で、全国各地から小学生一四六名、中学生一八〇名、高校・一般二二三名、計五五九名が参加して開催されました。静岡県からは小学生二名、中学生二名、高校生五名、一般四名で、計十三名の参加です。

会場の関係で前回、前々回の大会は個人総合競技において、小学生と中学生以上の選手を分けての競技となっておりますが、以前に戻って、全員が一堂に会しての大会となり、大変見ごたえのある大会となりました。

前日の七日午後三時より着席の抽選があり三時二十分より五時まで競技会場を練習会場として開放され、同行の先生方のご協力により、熱のこもった練習ができました。

今年も、都道府県對抗競技の対戦相手が、七月の時点で決定されているので相手を見据えての練習ができます。一回戦は不戦勝なので二回戦の対戦相手と、県選手の顔を見ながら今年も勝てるかも？と期待がかかる。

今年も、事前に各支部で引率者の中から大会当日大会運営委員の依頼があり、静岡県支部では栗田昭男先生を推薦申請し、一日運営委員として、頑張っていたきました。

八月八日、午前九時、生駒副理事長による開会宣言、正面スクリーンに、〈己の全てを、この一珠かける〉の言葉に続いて、大会参加全選手の氏名が北海道より正

面スクリーンに映し出され、静岡県は高梨選手を筆頭に十三名の選手名が並ぶ。心の中で頑張れ！

梶川理事長の挨拶の中で「今年も個人総合競技において小学生も中学生以上も一堂で競技することができ、多くの選手たちが全日本大会の雰囲気を経験し、今後の成長に繋がるものと期待しております。〈そろばん日本一〉の栄冠を獲得するには、心技体の充実が強く求められます。今年も歴史に残る戦いを期待いたします。」

また、文部科学省・小林努様、全珠連顧問 有村治子参議院議員の来賓挨拶があり、選手代表・滋賀県彦根市立南中学校二年の森隆志選手による選手宣誓で、いよいよ競技が開始されました。

《フラッシュ暗算》

優勝は大阪府の新名哲也選手で内容は三桁十五口 一・八五秒で昨年までの記録を破ることはできませんでした。又、昨年まで四年連続優勝し、ギネス記録保持者の笹野健夫選手が入賞しないという波乱もありました。

静岡県の選手は、あと一步のところで入賞ならず誠に残念。